

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

働く者に対して責任を要求する (P. F. ドラッカー)

1. 他の者が行うことについては満足もありうる。しかし、自らが行うことについては責任があるだけである。自らが行うことについては常に不満がなければならず、常によりよく行おうとする欲求がなければならぬ。大過なく過ごせることで満足な者がいる。会社としては、そのような満足では困る。逆に、仕事で成果を上げ、世のため人のためとなり、自己実現しているがゆえに、満足なものがある。両者の隔たりは大きい。
2. 企業が行なうべきことは、満足度の顔色をうかがうことではなく、貢献の責任を要求することである。つまり従業員満足の真意は、責任を果たすことに伴う満足でなければならない。しかも、働く者が責任を欲するか欲しないかさえ関係がない。責任とは、社会のために、組織のために、本人のために要求するものである。事実、成功している組織では、社長から新入社員まで、あらゆる者が責任を要求されている。
3. 働く者に対しては責任を要求しなければならない。企業は仕事が立派に行なわれることを必要とする。企業は働く者に対し、責任をもつよう励まし、誘い、必要ならば強く求めることによって、仕事が立派に行われるようにしなければならない。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2010年1月30日号)

経営者のための理念・哲学

自然は最高の師

鎌田 浩毅 (京都大学大学院教授)

1. ゲーテは、大量の文学作品の陰に隠れているが、自然科学の研究者としても一流であった。ゲーテは語る。「自然は、つねに真実であり、つねにまじめであり、つねに厳しいものだ、自然はつねに正しく、もし過失で誤謬があるとすれば、犯人は人間だ」。ゲーテにとって自然は、世界の本質を教えてくれた最高の師であった。
2. こうした自然に対し、ゲーテは畏敬の念を抱く。「自然は、生半可な人間を軽蔑し、ただ、力の充実した者、真実で純粋な者だけに服従して、秘密を打ち明ける」。ここに現代人がよく勘違いするような「自然を人間の都合に合わせてコントロールする」という考え方など微塵もない。文理融合を実現したゲーテこそ、自然の偉大さを本当に理解していた文学者だった。

(参考:「週刊東洋経済」:2010年2月13日号)

ワンポイント経営アドバイス

妥協すれば目標は遠ざかる

1. コツコツと努力を積み重ねていけば、いつかはゴールにたどり着く。しかし現実には、長年、一つのことに取り組んでも、結果を出せない人もいる。こうした人は、積み重ねている努力の質に問題があることが多い。それは、その努力の中に、「大体できたから、このくらいでいいだろう」という妥協が含まれると、目標達成は途端に困難になる。最大限の努力をしても結果が出るとは限らないがほんのわずかでも妥協すれば、確実に目標が遠ざかるのが競争の世界なのだ。
2. 名経営者は、この「妥協の怖さ」をよく知っている。だから、どんなことでも「最後までやり切ること」「取りこぼしをしないこと」にこだわるのだ。何事においても、小さな詰め甘さが取り返しのつかない差になると分かっているからだ。「コツコツやってもうまくいかない」。そんなふう感じたときは、「自分は努力を積み重ねているのではなく、妥協を積み重ねていないか」疑ってみる必要がある。

(参考:「日経トップリーダー」2010年4月号)

古典に学ぶ

平常心是道

「ところで人間は、この暑い、寒いと言わなくなったら、そしてそれを貫いて行ったら、やがては順逆を越える境地にも至ると言ってもよいでしょう。総じて精神的な鍛錬というものは、肉体的なものを足場にしてでないと、本当には入りにくいものなのです。精神的な忍耐力は、肉体上の忍耐力を足場として、初めて真に身につくものです」

(参考:森 信三「修身教授録抄」):報知出版社